

目次 Contents

2020年6月号

- 02 八十里越道路開通を見据えた連携がスタート
- 04 デマンドタクシーをご利用ください
- 07 栄えある受章 / 南会津町成人式延期のお知らせ
- 08 役場からのお知らせ
町のがんばる企業紹介シリーズ27「㈱星工務店、1級建築士事務所 studio_taka」/ ふるさと納税 (応援寄附金) / 消毒用アルコールの安全な取り扱いを / 空き家の適正管理を / ブロック塀などの改修を支援 / 感染症を防ぐ正しいごみの捨て方 / レジ袋有料化がスタート
- 14 すまいるだより vol.26
- 15 まちの話
町立の小・中学校にマスクを寄贈 / 地域おこし協力隊の二人が町に「藍染マスク」を寄贈
- 16 百歳賀寿 / 6月の納税こよみ
- 17 暮らしの情報
お知らせ・募集 (2件)、相談 (3件)
- 17 大宅町長の公務百景
- 18 健康通信
㈱タニタヘルスリンクと協働した「健康づくり事業」の結果報告 / マスク着用による熱中症に注意 / おうちで簡単お気軽に♪手作りマスク講座 / 児童手当を受給されている方へ / 令和2年度子宮がん施設検診のお知らせ / 乳幼児健診・相談カレンダー / 心の健康相談のお知らせ / 6・7月の日曜当番医
- 24 図書館へ行こう!
- 25 まちの文芸 / 特別定額給付金の振込に関するお知らせ / 誕生おめでとう / お悔やみ申し上げます / まちの人口 / 編集後記
- 26 東京五輪への取り組みシリーズ7

今月の表紙
町の新たな交通網を担う
「おっちゃん」に焦点を当てました
安全運転に努める日々ありがたく思います
デマンドタクシーの記事は4ページから



八十里越道路の開通を見据えた三市町連携がスタート

令和5年に新潟県三条市下田地域と福島県只見町を結ぶ八十里越道路(国道289号)の全線開通が予定されています。八十里越道路の開通は、新潟県と福島県をつなぐ新たなルートの誕生であり、観光客をはじめとする人の流れに大きな変化をもたらすことが期待されます。これを契機に南会津町、只見町、新潟県三条市の三市町による「越後・南会津街道観光・地域づくり円卓会議および懇談会」が開催され、連携がスタートしました。

③ 誘客ターゲットをどう捉えるか
不特定多数(マス層)を相手とはせず、三市町の持つ自然資源や地域性にヒットする少数派(ニッチ層)をターゲットとした事業を展開します。
「誰にとっても良いもの」よりも「誰か一人にとって良いもの」つまり熱狂的なファンの獲得を目標とします。特定層に向け集中した投資を行うことで、焦点を絞った質の高い誘客コンテンツを提供します。

⑤ 「やる気のあるプレイヤー」
一体誰なんだろう？
↓
三市町が推薦する「プレイヤー」の皆さんをご紹介します。

おばら もとひろ
小原 基宏 さん(南会津町)
〔所属・役職〕
株式会社みなみあいづ企画営業課 係長
〔経歴〕
個人・団体旅行、二次交通商品、都市交流事業など幅広く取り扱う。南会津地域の広域観光事業や教育旅行受入のワンストップ窓口を担う。

まつざわ しゅん
松澤 瞬 さん(南会津町)
〔所属・役職〕
合同会社SCOP 代表社員
〔経歴〕
森林資源の活用による地域活性化に取り組み、移住・定住コンシェルジュも兼務。木製品やアロマ製品の展開、アウトドアツーリズムのコンテンツづくりも担う。

①なぜ三市町連携をスタートしたのか

三市町の周辺には、新潟県弥彦村、会津若松市、栃木県日光市という全国有数の観光地があり、いわば「観光の通過点」になっている現状があります。この状況下で、ただ漫然と観光誘客を進めても、どこにでもある田舎に埋没してしまうという危機感を、三市町は共通して抱いていました。八十里越道路の開通に合わせ、広域的な視点から共通の課題を解消させようと、取り組みを開始しました。

④円卓会議と懇談会 どう違うのか

〔円卓会議とは〕
三市町が推薦する「やる気のあるプレイヤー」と自治体担当者を中心とする実践部隊です。この連携事業の中心組織となります。
〔懇談会とは〕
円卓会議メンバーが取り組む事業の方向性や内容を共有する場です。三市町の首長をはじめ、国や県の関係機関、観光組織代表者などで組織されます。

②どのような連携を想定しているか

三市町に共通するもの、それは豊かな自然資源です。新たな視点から、魅力ある自然資源を活用し、スポーツやアウトドア・アクティビティといった誘客コンテンツを充実させることで、その分野の「聖地」としての立ち位置を確立させる取り組みを進めます。



5月21日にオンラインで開催された第1回越後・南会津街道観光・地域づくり円卓会議および懇談会



おたけ ゆかり
大竹 由香利 さん(三条市)
〔所属・役職〕
越後長野温泉「嵐渓荘」若女将
〔経歴〕
守門川のほとりに佇む「嵐渓荘」は、昭和2年に開湯し、良質な源泉と滋味深い料理が評判。ヨガの資格を取得し、環境を生かしたリトリートを提案している。



につくに
新國 みつき さん(只見町)
〔所属・役職〕
ゆの宿「松屋」若女将
〔経歴〕
約3年間のタイ留学と現地就職の経験からタイ語を嗜み、現在では宿泊客の約8割がタイ人。船舶免許を保有し、田子倉レイクビューで遊覧船の運転も行う。



よしだ ちかほ
吉田 千佳穂 さん(三条市)
〔所属・役職〕
日本マイクロソフト株式会社 社員
〔経歴〕
東京で働いていたが、地元の三条市に拠点を戻し、週2日は自宅リモートワークを行う。下田地域の古民家を再生し、民泊事業を準備中である。



めぐろ だいち
目黒 大地 さん(只見町)
〔所属・役職〕
目黒麴店 七代目
〔経歴〕
目黒麴店は明治32年に創業し、各家庭の味噌造りで使用される麴を販売したことが始まりとされる。現在では麴のほかに、味噌、生ラーメンなどを製造する。



さの ひでのり
佐野 英憲 さん(三条市)
〔所属・役職〕
道の駅「漢学の里しただ」駅長
〔経歴〕
下田地域の観光情報発信拠点である道の駅「漢学の里しただ」。特産品の開発・販売や誘客イベントの開催を通じて、下田地域のPRを行う。



わきさか よしひろ
脇坂 斉弘 さん(只見町)
〔所属・役職〕
合同会社ねっか 代表社員
〔経歴〕
酒米を作る米農家の皆さんと、平成28年に合同会社「ねっか」を設立し、米焼酎造りをスタート。米焼酎を起点に、地域の仕事、特産品、風景を生み出すことを目指している。



やまだ けいいちろう
山田 桂一郎 さん(アドバイザー)
〔所属・役職〕
JTIC.SWISS 代表、観光庁観光カリスマ
〔経歴〕
スイスのツェルマットで日本語インフォメーションセンターを設立後、世界各地のツアーを企画。観光地再生、地域経営を日本各地で手掛け、マーケティングセミナーも行う。



なしもと じろう
梨本 次郎 さん(三条市)
〔所属・役職〕
株式会社梨本商店 代表取締役社長、三条観光協会会長、燕三条ラーメン王国 国王
〔経歴〕
観光関連団体の代表を複数務める。登山とランニング愛好家で、1カ月に300kmを走破。